

コヨット! 通信 No. 9

2017年4月28日発行

4月号

日本生協連
組合員活動部

2016年度福島の子ども保養プロジェクトに参加した親子は、
週末未就学保養 56 企画、1,651 人、小学生週末保養 9 企画、442 人
県外受入 19 企画、481 人、合計 84 企画、2,574 人でした。
これまでの累計は、511 企画、18,099 人になりました。
全国のみなさまのご支援に感謝申し上げます。



拡大運営委員会で6年間の成果と今後の方向を検討しました～リポート・イン・ほなり

4月22日～23日にコヨット!運営委員、コヨット!スタッフ、子ども遊び塾プレーワーカー、福島大学の研究者による合同の「拡大運営委員会」を開催し、32名が参加しました。コヨット!開催のきっかけとなった原発事故から6年が経過し、この4月には「帰還困難区域」を除き避難指示が解除される



という環境の変化もありました。コヨット!は、震災の年2011年に生まれた子どもたちが、満10歳を迎える2021年3月まで継続することをご支援をいただいている全国のみなさまに表明しています。2017年度はこの方針を踏まえ、6年間の振り返りと2021年3月までの4年間の方向性を検討する年です。今回の拡大運営委員会で出された議論の内容などは、今後発行する「福島の子ども保養プロジェクト活動5年レポート」と合わせて、次号から紹介していきます。



今シーズン最後の雪(そり)遊び ～ 3/18-19リポート・イン・ほなり ～

3月18日～19日、9家族(未就学児14名、小学生3名)が雪遊びといちご狩りを楽しみました。福島市内や郡山市内は雪が消えてしまっているのに、ほなりの雪に喜び!シーズン最後の雪遊びに大満足でした。



【参加者アンケートから】
「春になると山菜を採り食べるのが楽しみだったのに放射能汚染で食べることができない…と最近も放射能に関するストレスを感じていましたが、保養旅行でリフレッシュできました。雪遊びも楽しかったです。」



大学生のお兄さん、お姉さんと外遊び ～ 3/4-5 遠刈田温泉 さんさ亭 ～

3月4日、9家族（未就学児13名、小学生3名）が、東北学院大学3名（宮城県）、桜の聖母学院2名（福島県）のボランティアと公園で外遊びを楽しみました。子どもや親子遊びを主導してくれた東北学院大学の佐藤宗さんは、就職のため今回が最後のボランティアとなりました。学生時代を通じてのご支援、ありがとうございました！

翌5日は、仙台市内のアンパンマンミュージアムを訪れました。



親子ボールリレー



佐藤宗さん

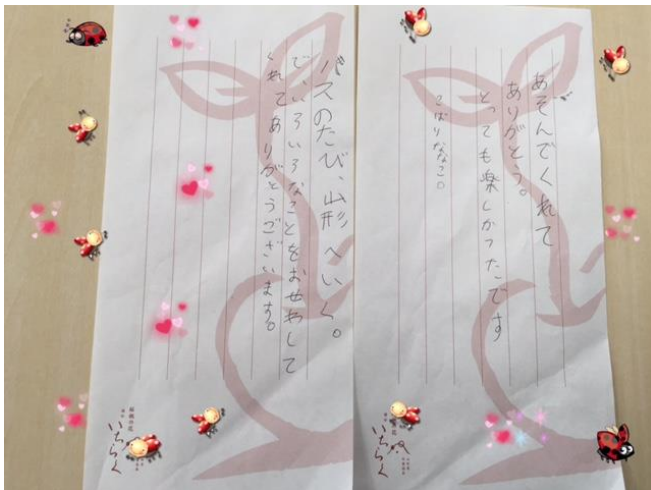
【参加者アンケートから】

「スタッフの方や学生の方の協力でもたのしい旅行でした。また参加したいです。」「市内の室内遊び場に行くこともあります。広さも限られており、6歳の子どもの思い切り遊ぶには手ぜまで、“危ないよ～、走らないで～”など注意してしまいます。外遊びの代わりににはならないし、気を使いすぎて疲れることもあるので、保養でのびのび遊び、ほっとできるのがありがたいです！」



お子さんからメッセージをいただきました！ ～ 3/18-19 天童温泉いちらく ～

3月18日～19日の山形天童市の保養に参加したお子さんから、心温まるメッセージをいただきました。スタッフが一番幸せを感じる時です。



「バスのたび、山形へ行く。で、いろいろなことをおせわしてくれてありがとうございます。」（左）「あそんでくれて ありがとう。とても楽しかったです」（右）



上手でしょ！
缶ポックリ

【参加者アンケートから】

「福島県から他県に避難した子がいじめに遭っているニュースを見るたびに心が痛みます。将来、子ども達が他県の方と知り合い結婚する際に、差別の目で見られたらと思うと不安でいっぱいです。この二日間、少しでもその不安から解消できて本当に良かったです。」

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉、小池